

再生専用アプリケーション
アロバビュープレーヤー操作ガイド

目次

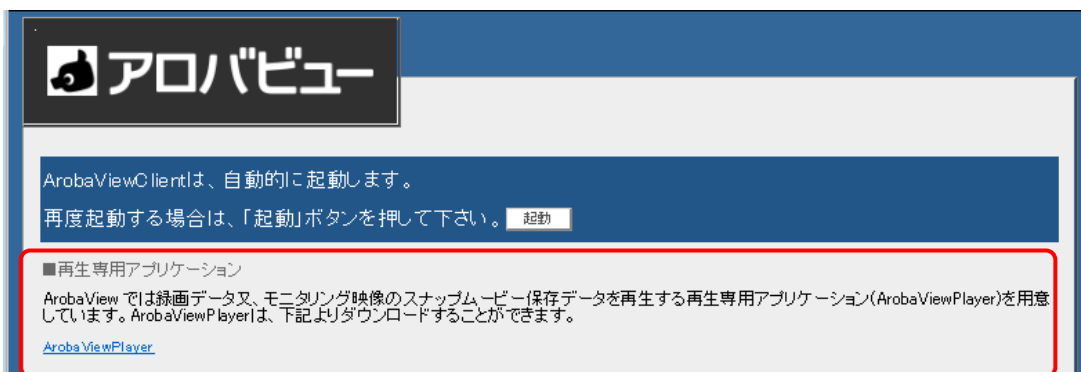
1 アロバビュープレーヤーをダウンロードする	3
2 アロバビュープレーヤーを起動する	4
3 アロバビュープレーヤーの画面構成	5
4 録画データの取得方法	8
4.1 アロバビュークライアントから録画データをダウンロード保存する	8
4.2 アロバビュークライアントでスナップムービーを保存する	10
4.3 カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)に蓄積された録画データを取得する.....	11
5 アロバビュープレーヤーの操作方法	12
5.1 録画データの読み込みから再生まで	12
5.2 スナップショットを撮影する	14
5.3 録音した音声を再生する	14
5.4 画面を拡大する.....	14
5.5 画面を印刷する.....	14
6 録画データを AVI 変換する	15
7 アロバビュープレーヤーを終了する	5

1 アロバビュープレーヤーをダウンロードする

再生専用アプリケーション「アロバビュープレーヤー」はアロバビューをインストールしたサーバーからダウンロードします。

1. ブラウザのアドレスバーにアロバビューをインストールしたサーバーの IP アドレスを入力し起動画面を表示します。アロバビューサーバーにアクセスすると、自動的にアロバビュークライアントがアクティブになりますので、タスクバーでブラウザをクリックするなどの方法で、再度ブラウザをアクティブにしてください。

下記の画面が表示されていない場合は、画面を再読み込みしてください。



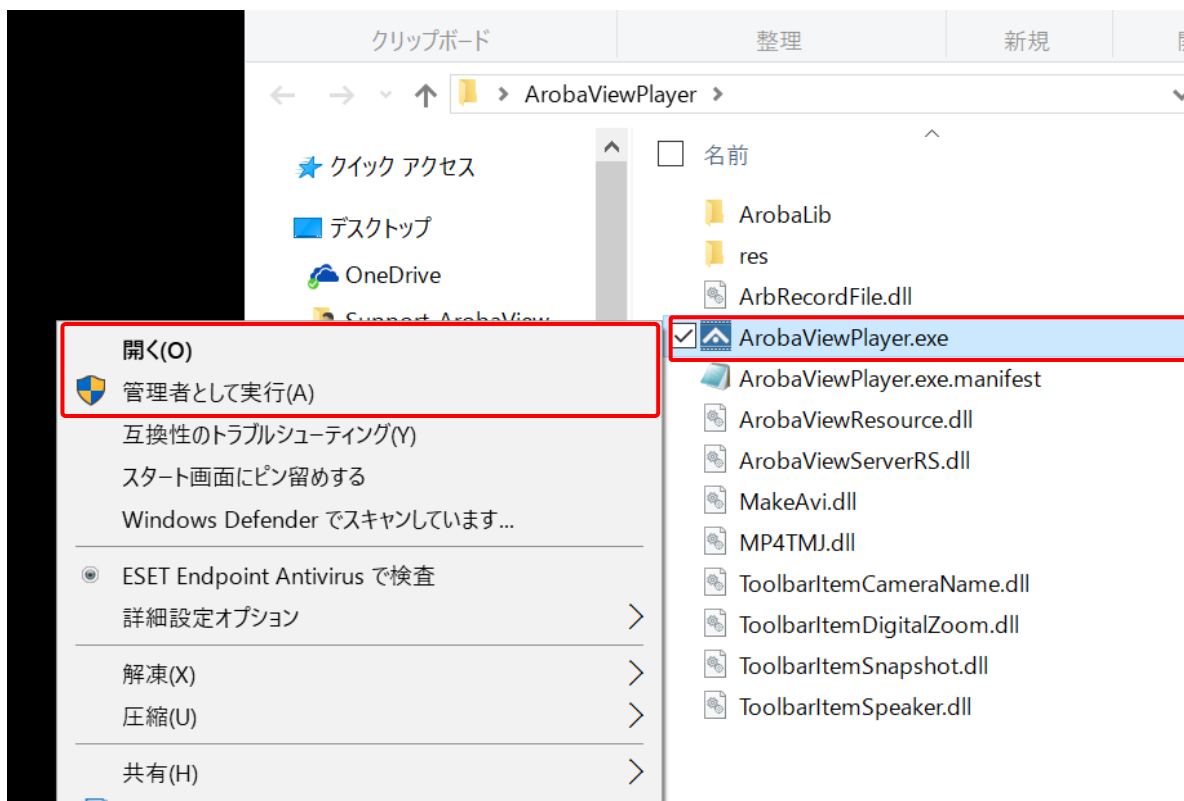
2. [ArobaViewPlayer]をクリックし[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されたら、< 保存 >ボタンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。



3. ダウンロードしたファイルは ZIP 形式で圧縮されています。エクスプローラの右クリックメニュー[すべて展開...]、あるいは解凍ツールを使用してファイルをデスクトップ等へ解凍してください。

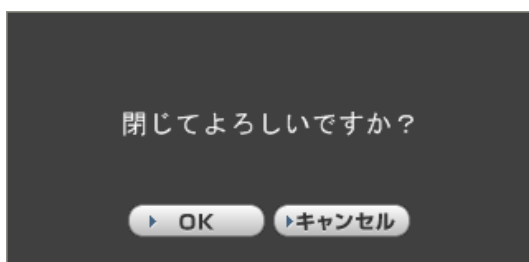
2 アロバビュープレーヤーを起動する

フォルダに表示された "ArobaViewPlayer.exe" のアイコンをクリックするとアロバビュープレーヤーが起動します。



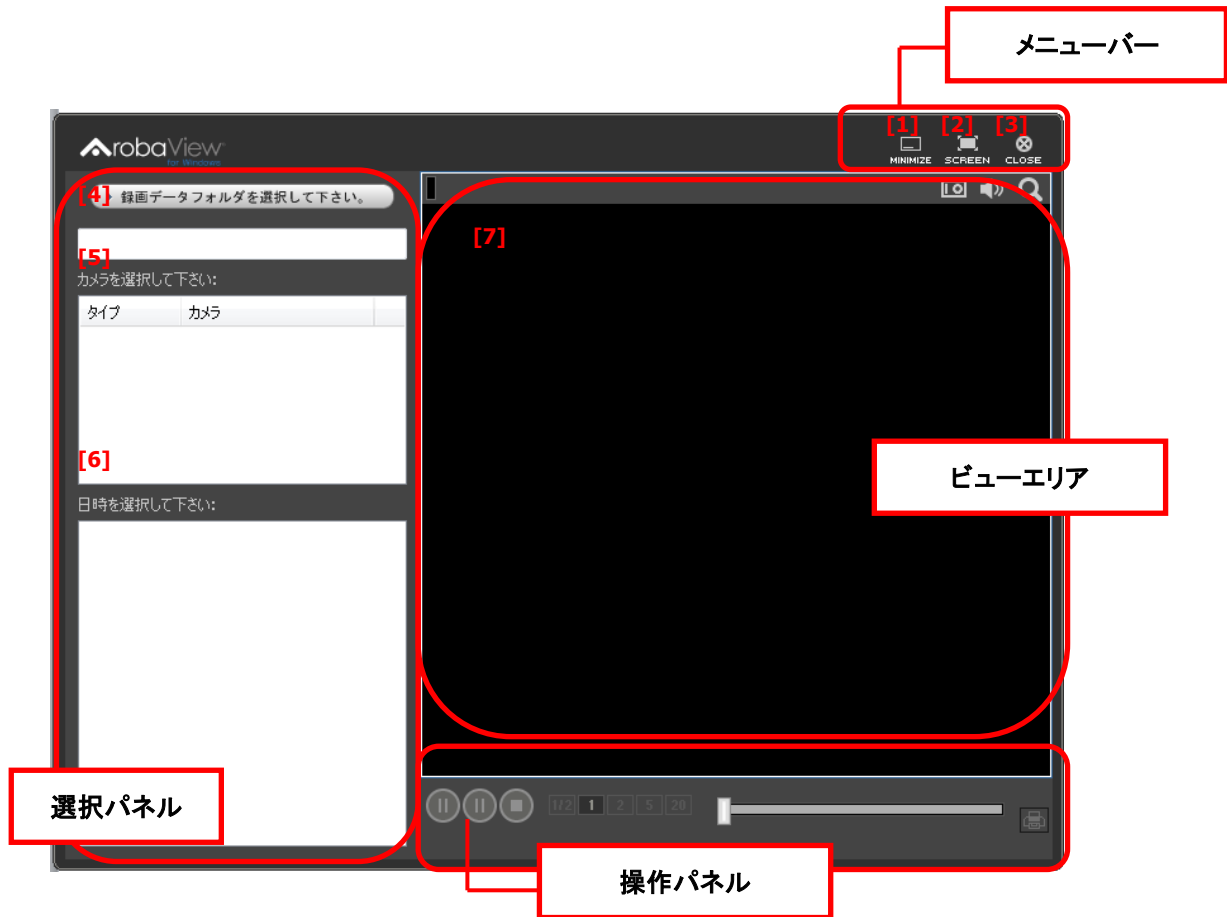
3 アロバビュープレーヤーを終了する

メニューバーの[CLOSE]ボタンをクリックします。確認ダイアログボックスが表示されたら[OK]をクリックします。



4 アロバビュープレーヤーの画面構成

ここではアロバビュープレーヤーの画面構成について説明します。



メニューバー	
[1] MINIMIZE	画面を最小化し、タスクバーに格納します。
[2] SCREEN	画面をフルスクリーンで表示します。
[3] CLOSE	アロバビュープレーヤー を終了します。

選択パネル	
[4] フォルダ指定	アロバビュープレーヤーで再生したい録画データが保存されているフォルダを指定します。
[5] 録画情報リスト	指定したフォルダ内に保存されている録画データ情報(カメラ名、録画種別)を一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・常時: 常時録画データを表します。 ・イベント: イベント録画データを表します。 ・スナップ: スナップムービー機能で保存されたデータを表します。
[6] 録画データリスト	指定した録画データの日時一覧を表示します。

ビューエリア	
[7]	指定されたデータの画像を表示します。



操作パネル	
[8]	選択した録画データを逆再生します。再生中は一時停止ボタンに変化します。
[9]	選択した録画データを再生します。再生中は一時停止ボタンに変化します。
[10]	再生を停止します。
[11]	0.5 倍速(1/2 スロー)で再生します。
[12]	等倍速で再生します。
[13]	2 倍速で再生します。
[14]	5 倍速で再生します。
[15]	20 倍速で再生します。
[16]	ドラッグで再生位置を選択します。
[17]	表示中の画面を印刷します。

5 録画データの取得方法

ここではアロバビュープレーヤーで再生する録画データの取得方法について説明します。

アロバビュープレーヤーは、アロバビュークライアントでダウンロード保存された録画データ、スナップムービー、またはレコーディングサーバーに蓄積された録画データファイルを直接再生するための専用アプリケーションです。録画データフォルダをコピーして再生することも可能です。



録画を行っているカメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)上で再生することは推奨していません。ご利用のサーバーのスペックによっては、アロバビュープレーヤー再生時の負荷により、録画漏れ等の影響を及ぼす危険性がありますので、ご注意ください。

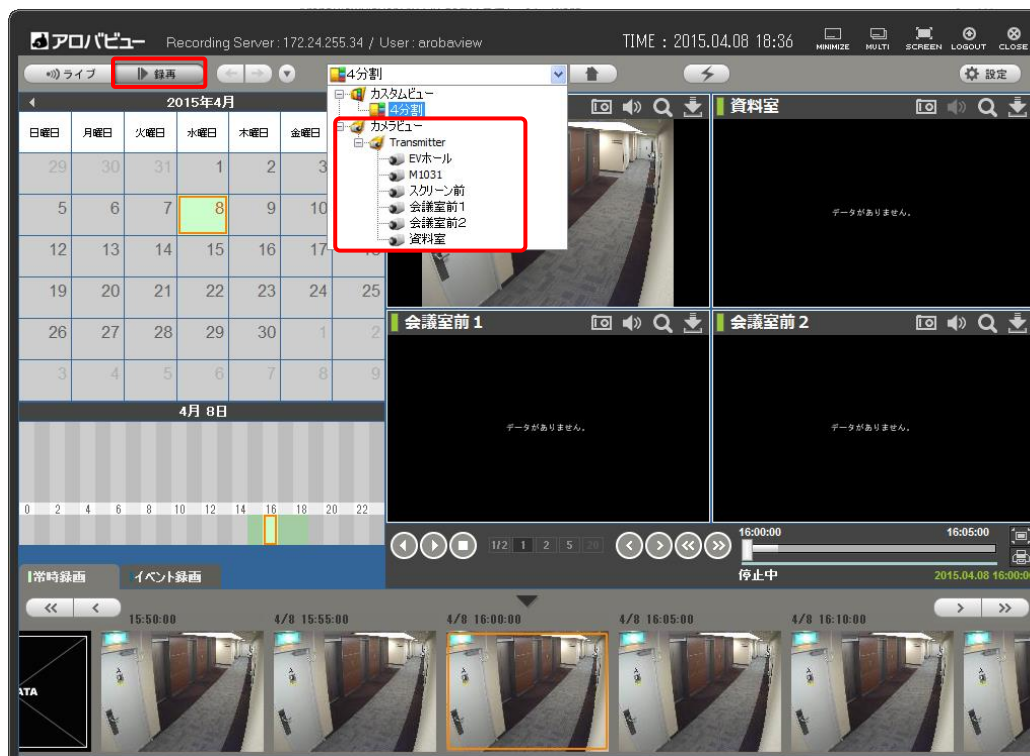
5.1 アロバビュークライアントから録画データをダウンロード保存する

※事前にアロバビュークライアント>設定>環境設定 で保存先を設定する必要があります。

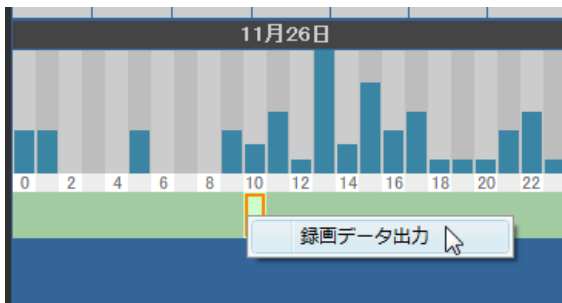
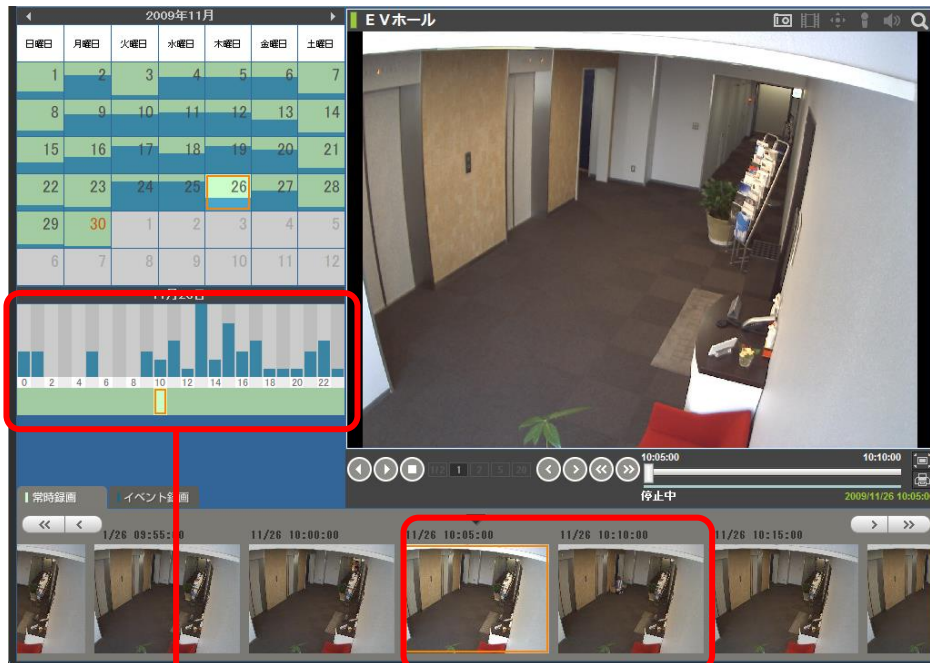
※スナップショット・スナップムービー・録画データのダウンロード先に、同じ保存パスを指定することはできません。

それぞれ個別の保存パスを指定してください。

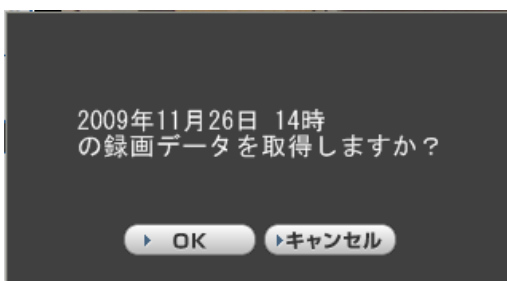
1. アロバビュークライアントを起動し、録再モードを選択します。ダウンロードしたいカメラを選択します。



2. グラフィカルチャートのグラフを右クリック、またはサムネイル画像を右クリックし、表示される右クリックメニューの[録画データ出力]を選択します。



3. 確認ダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックすると、[環境設定]→[保存先]で指定したフォルダに、録画データをダウンロードできます。



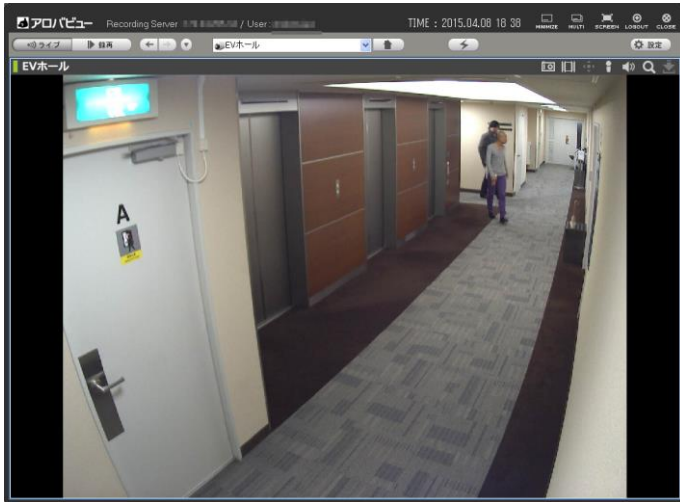
[環境設定]→[保存先]タブで録画データの保存先を指定していないと、録画データのダウンロードはできません。

5.2 アロバビュークライアントでスナップムービーを保存する

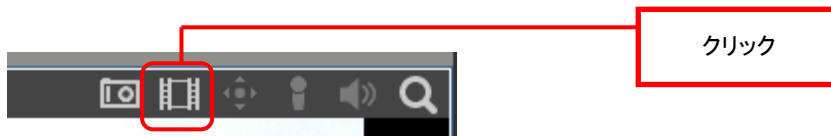
※事前にアロバビュークライアント>設定>環境設定 で保存先を設定する必要があります。

※スナップショット・スナップムービー・録画データのダウンロード先に、同じ保存パスを指定することはできません。
それぞれ個別の保存パスを指定してください。

1. アロバビュークライアントを起動し、ライブモードを選択します。
スナップムービーを撮影したいカメラを選択します。



2. メニューバーの[スナップムービー]アイコンをクリックすると、表示しているカメラ画像の録画が開始されます。
再度、[スナップムービー]アイコンをクリックすると録画を停止します。



[環境設定]ウィンドウの[保存]タブメニューで、スナップムービーの保存先フォルダが指定されていないと、スナップムービー機能は使用できません。また、スナップムービーの録画時間は、最長で1分となっています。1分を過ぎると[スナップムービー]アイコンをクリックしなくても、自動的に録画を停止します。
詳しくは、「アロバビュークライアント設定 & 操作マニュアル」をご確認ください。

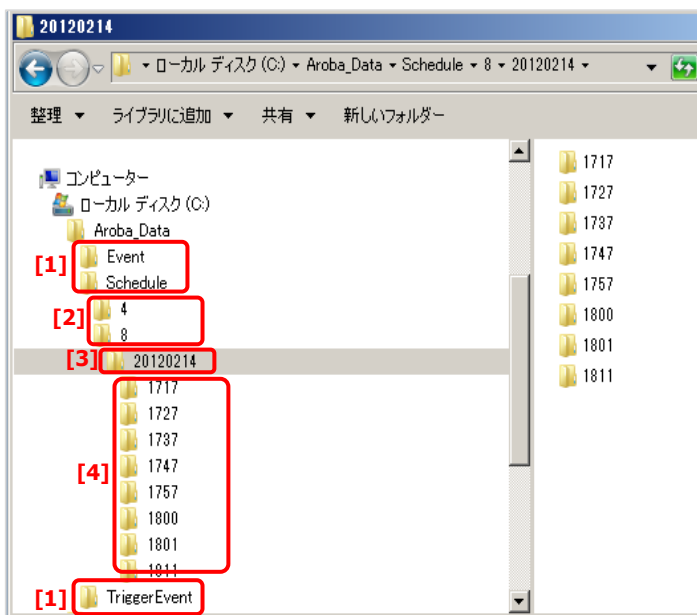
5.3 カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)に蓄積された録画データを取得する

アロバビュープレーヤーは、カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)に蓄積された録画データを再生することができます。

※録画データの保存先は、サービスコントロールセンター>保存設定タブ で設定したフォルダに保存されます。設定したフォルダには、常時録画データとイベント録画データがフォルダ分けされた状態で保存されます。

※録画データを持ち出す場合はアロバビューの録画データフォルダ構造を維持した状態でコピーしてください。下記例の場合は「1」から「3」の階層を維持した状態で、必要な時間帯「4」をコピーしてください。

例:録画データ保存先の階層



[1]	常時録画データのフォルダ (Schedule)と、イベント録画データのフォルダ (Event)と、トリガーイベント録画データのフォルダ (TriggerEvent) が生成されます。
[2]	カメラ毎のフォルダが生成されます。フォルダ名は、カメラIDとなります。
[3]	録画されている日付のフォルダが生成されます。
[4]	録画されている日付の時間フォルダが生成されます。



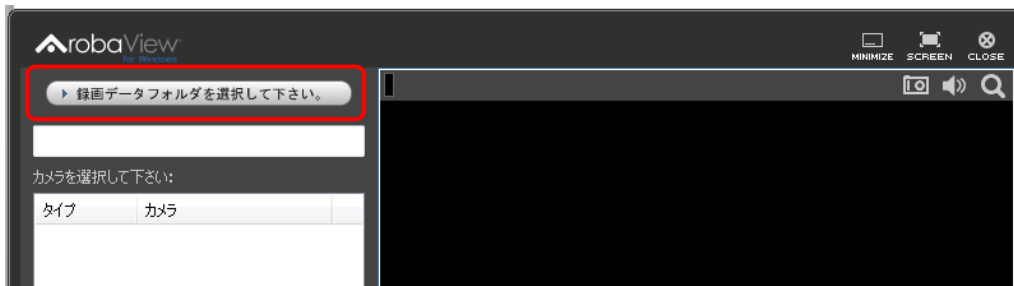
カメラIDは、登録された順の連番となり、削除されたカメラIDは欠番となります。
[管理者設定][カメラ]で設定する「カメラ名」とは異なりますのでご注意ください。

6 アロバビュープレーヤーの操作方法

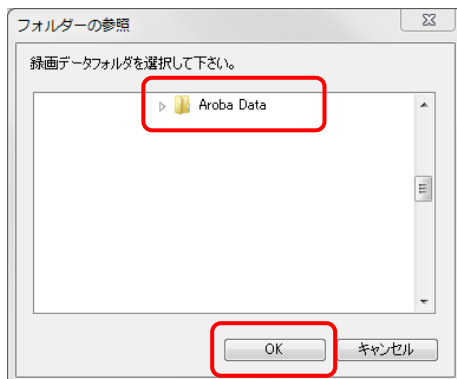
ここではアロバビュープレーヤーの操作方法について解説します。

6.1 録画データの読み込みから再生まで

1. アロバビュープレーヤーを起動し、「録画データフォルダを選択してください」をクリックします。

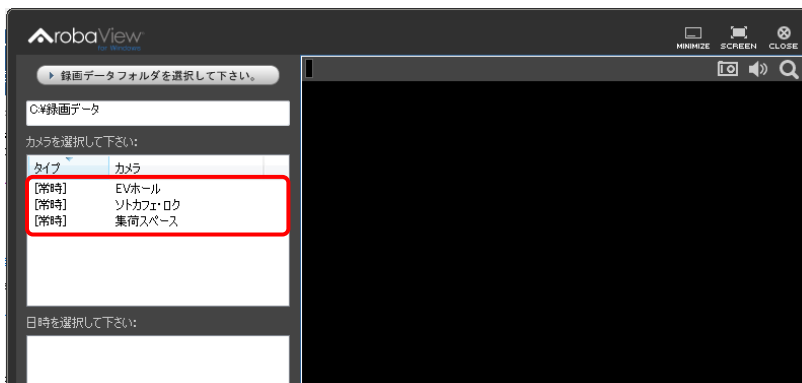


2. 「録画データフォルダを選択してください」と表示されたら、対象となるデータが保存されているフォルダを選択し、「OK」をクリックします。



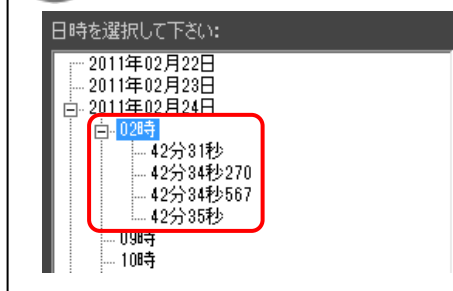
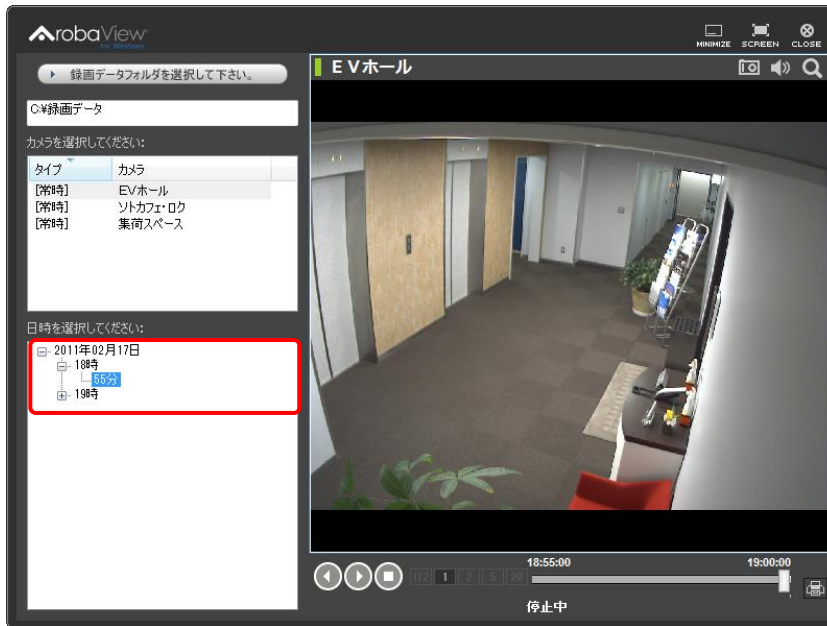
3. 録画情報リストで対象となるカメラをクリックします。

ひとつのカメラに対してFTPアップロードイベントデータとHTTPトリガーイベントデータの両方が存在する場合はリストに同じカメラが重複して表示されます。



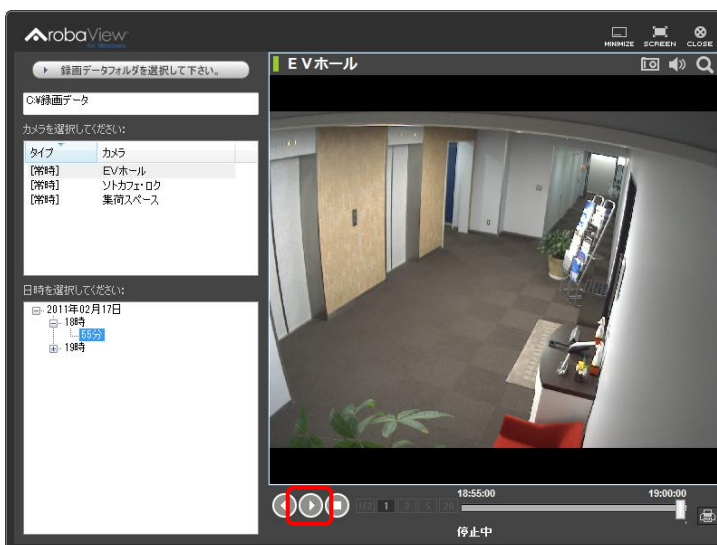
4. 録画データリストに録画された日時が表示されます。

「-」をクリックしてツリーを展開し、再生したい日時をリストから選択します。



イベント録画データはイベントごとに表示されます。
「時分秒」が同一のイベントが複数ある場合はミリ秒まで表示されます。

5. 再生ボタンをクリックすると、ビューエリアで映像が再生されます。



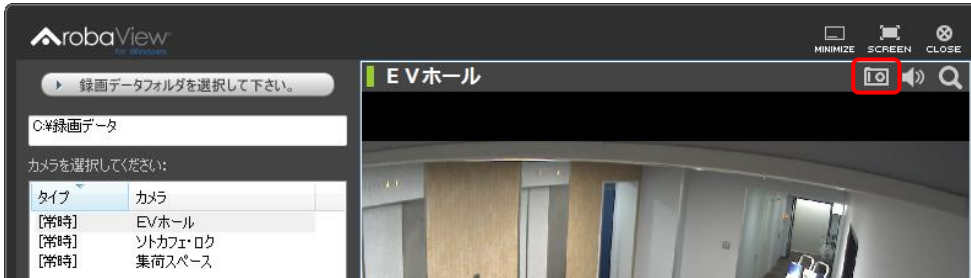
Point

逆再生ボタンをクリックすると、表示中の時点から逆再生されます。
再生スピードボタンをクリックすることで、再生(逆再生)速度を 0.5 倍速/ 等倍速/ 2 倍速/ 5 倍速/ 20 倍速に変更できます。
スライダーを左右にドラッグすることで、任意の時点から再生することができます。

6.2 スナップショットを撮影する

メニューバーの[スナップショット]アイコンをクリックすると、表示しているカメラ画像のスナップショットを JPEG 形式画像として保存します。

スナップショット画像保存場所: ArobaViewPlayer.exe と同じ階層に保存されます。保存先の変更はできません。



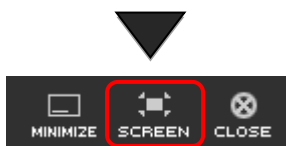
6.3 録音した音声を再生する

メニューバーの[スピーカー]アイコンをクリックすると、表示しているカメラ画像の音声を再生します。



6.4 画面を拡大する

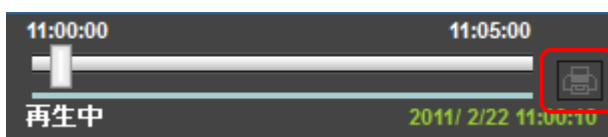
メニューバーの[SCREEN]アイコンをクリックすると、ビューエリアが、最大化されます。



フルスクリーンモードでは、[SCREEN]アイコンの形が変わります。もう一度クリックすると元のサイズに戻ります。

6.5 画面を印刷する

操作パネルにある[印刷]アイコンをクリックすると、印刷ダイアログボックスが表示され、その時点でビューエリアに表示されている画像を印刷できます。ただし、再生中は[印刷]アイコンは利用できません。印刷したい場面で一時停止を行うと、[印刷]アイコンが有効になります。



7 録画データを AVI 変換する

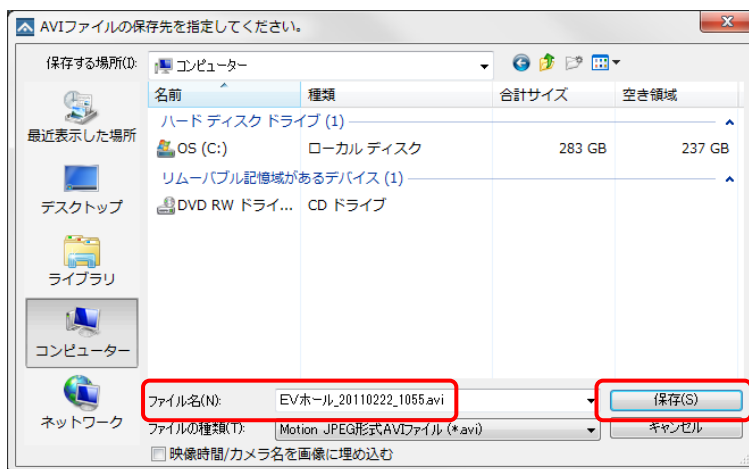
録画データを AVI 変換することで汎用的なプレーヤーでも再生が可能になります。

※音声は非対応となります。AVI 変換後に作成されたファイルは音声再生ができませんのでご注意ください。

1. AVI 出力したい日時を右クリックし、[AVI ファイルに変換する]を選択します。



2. 下記ダイアログが表示されたら、保存先を指定してファイル名を入力し、[保存]をクリックします。



※[映像時間/カメラ名を画像に埋め込む]をチェックすると、出力された AVI ファイルを再生する際、映像時間とカメラ名を表示します。

3. 「AVI ファイルの生成中」と表示され、変換が完了すると「AVI ファイルの作成が完了しました」と表示されますので、[OK]をクリックしてください。





出力された AVI ファイルが分割される場合

AVIファイルの作成が完了しました。
画像サイズ変更の検出によりファイルは分割されています。

TEL1 C18110-D_20081204_1900.avi
TEL1 C18110-D_20081204_1900_1.avi
TEL1 C18110-D_20081204_1900_2.avi

▶ OK

録画データは、常時録画で5分間、イベント録画は1イベントを単位時間としてイベントファイルを生成しています。単位時間内に異なる複数の画像サイズで録画されている場合、画像サイズが変更された回数だけ、AVIファイルが分割されます。

また、HTTP トリガーイベントによる長時間イベント録画は AVI 変換時に約5分ごとのファイルに分割されます。